



鬼塚 慎一(おにづか しんいち)

株式会社スタジオニクロム代表取締役

有限会社時代工房取締役

NPO法人いごっそう理事長(B型事業所)

NPO法人HALF-TIME理事(B型事業所)

NPO法人フットスポーツアカデミー理事

【プロフィール】

1969年生まれ

京都教育大学卒業 プロサッカー選手になる夢破れ、社会福祉法人に入職

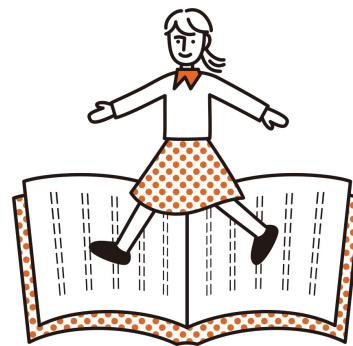
知的障害者の入所、通所、相談支援、高齢者のデイサービス等、様々な業務に従事する

30歳を超え、「若さ」という武器に陰りが見えてきたため立命館大学大学院経営学修士(MBA)を修了し新たな武器を手に入れる

36歳でNPO法人に転職。障害者の在宅就労を支援する事業に従事する

「高いスキルを持つが就労できない人たちが多数存在する現状に直面」し、「一般市場に流通している商品やサービスの提供に障害者が関わることで安定した就労が可能になる」との思いを強く持つ

それらの仕組み作りの一環として、有限会社時代工房のサポートのもと、2014年3月に就労継続支援A型事業所スタジオニクロムを開設する

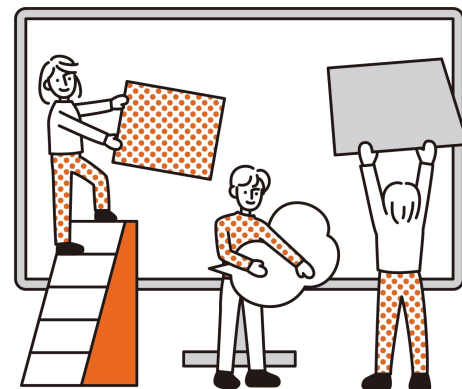
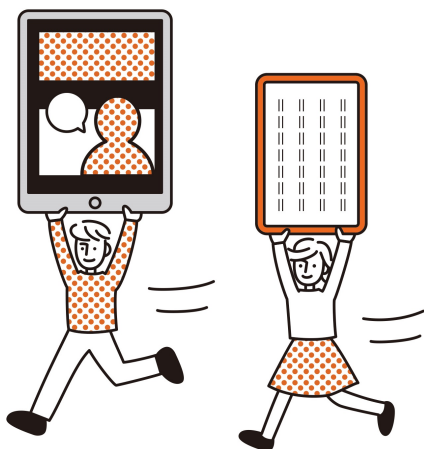


「優良A型認定事業所報告」

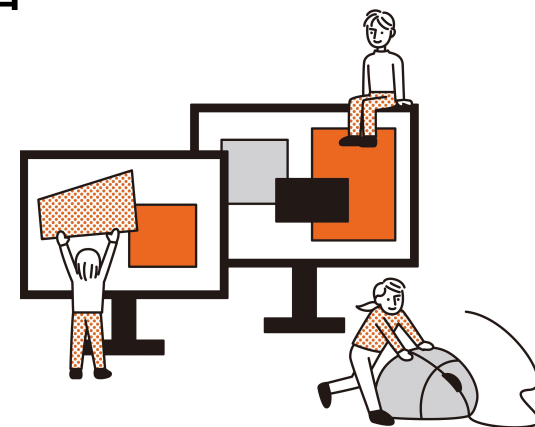
電子書籍制作導入の経緯

株式会社スタジオニクロム

代表取締役 鬼塚 慎一



【概 要】 施設名：スタジオニクロム
所在地：京都市中京区
設 立：2014年3月1日
定 員：20名
現 員：23名



【利用状況】 週25時間以上30時間未満 20名
週20時間以上25時間未満 3名

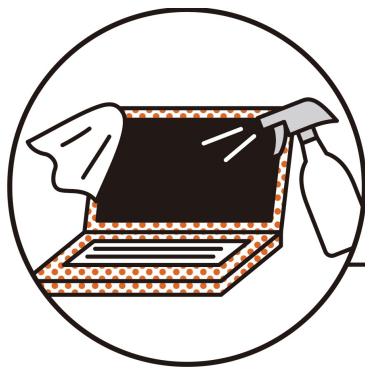
【平均時給】 1,080円

【平均月給】 104,700円（2020年度実績）

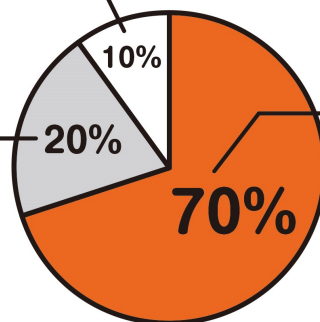


□□□□□□□□□□□□□□□□

【作業内容】



PC リサイクル
データ入力
テープ起こし等



電子書籍制作

```

class="contact
<p class="wide"><span c
<p class="middle"><a href=
</div>
<h1 class="logo"><i class=
<nav id="menu" class="global-m
<ul>
<li><a href="#aboutus"><sp
<li><a href="#works"><sp
<li><a href="#usage">
<a href="#f
  
```

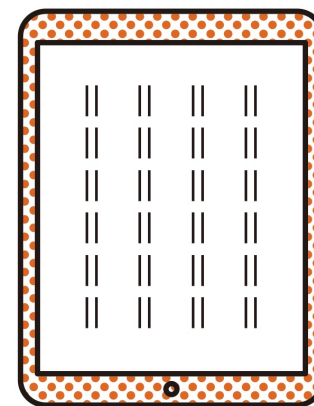
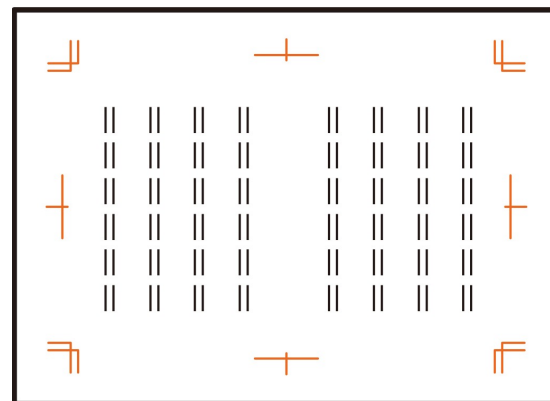
ウェブ・デザイン制作

電子書籍制作(書籍編)

- ① 入稿(印刷)データを受け取る
- ② 拡張子(.epu)を変換する
- ③ 校正(印刷用データと電子書籍を見比べる)
- ④ 修正作業
(画像の位置や旧字体、外字などの処理)

【必要なスキル】

epubファイルはHTML形式でテキストが書かれているため、HTML、CSSの基本知識



電子書籍制作(漫画編)

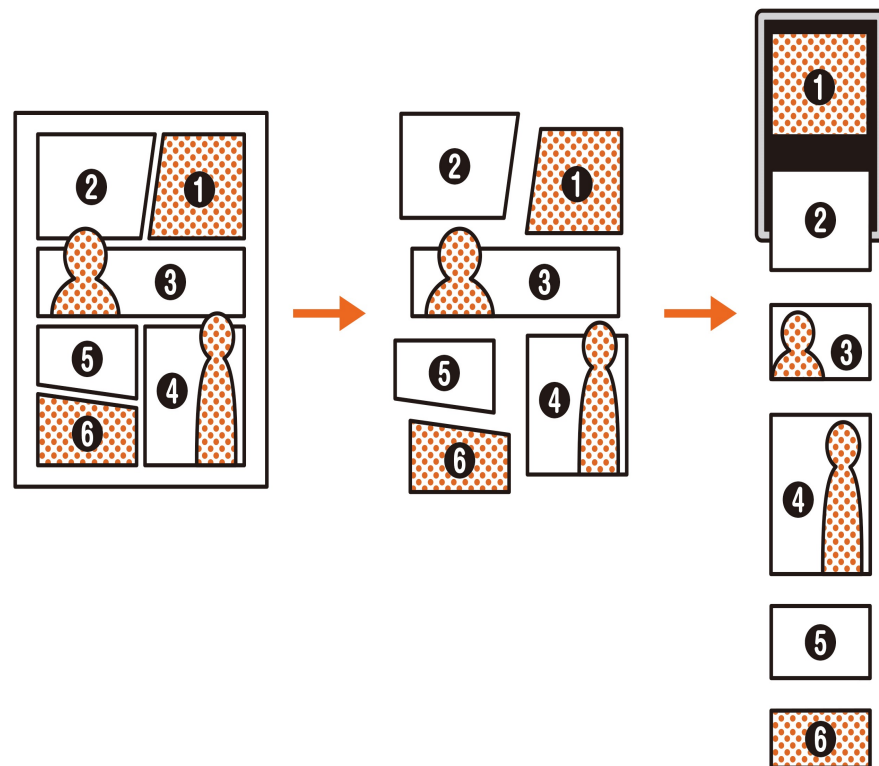
① 入稿(印刷)データを受け取り

② 読む順番にコマを切りとる

③ 成形する

④ コマからはみ出した吹き出しや
画像を枠内に収める

⑤ 台紙に読む順番に貼り付ける



【必要スキル】 Photoshopの基本操作

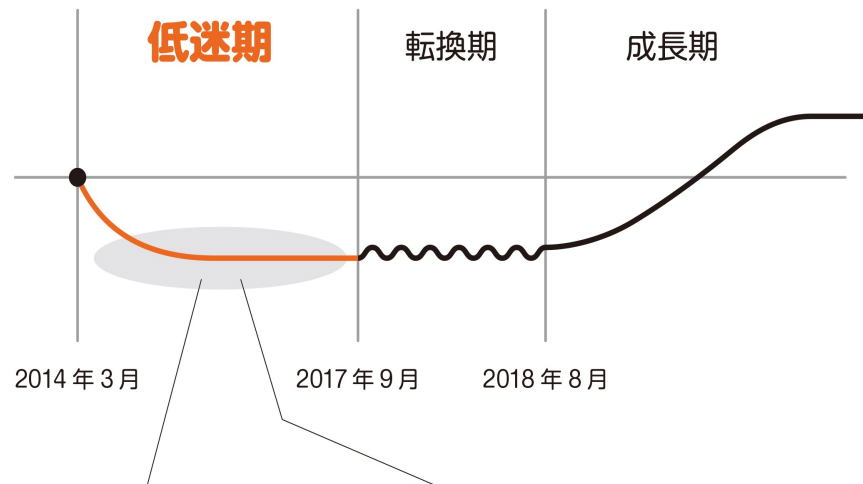
低迷期

- ・有限会社時代工房のサポートを受け
定員10名、ウェブデザイン制作のA型
事業所を開設(2014年3月)
- ・新商品を開発、リリース
売上アップを期待するも...

時代工房から一定の業務を受託するが
売り上げが伸びない

利用者が増やせず支援費収入も伸びず

運営は出来ているが、将来展望も描けない時期を過ごす(約3年半)



転換期

- ・時代工房の取引先(株式会社HRC)より相談



利用者1名の受入れと電子書籍制作受託



ウェブの基礎知識があれば電子書籍の制作が可能！



電子書籍(電子版)を3名体制で再スタート！

- ・HRC代表より「デザインソフトができれば漫画の制作が可能、候補者がいれば検討してほしい」と打診



候補者2名で研修を行い、漫画制作の受託をスタート！

現在のベースになる電子書籍制作の受注を開始！！



成長期

- ・HRC代表より受注増、人員増の打診



事務所スペース的に厳しく、引越費用も...



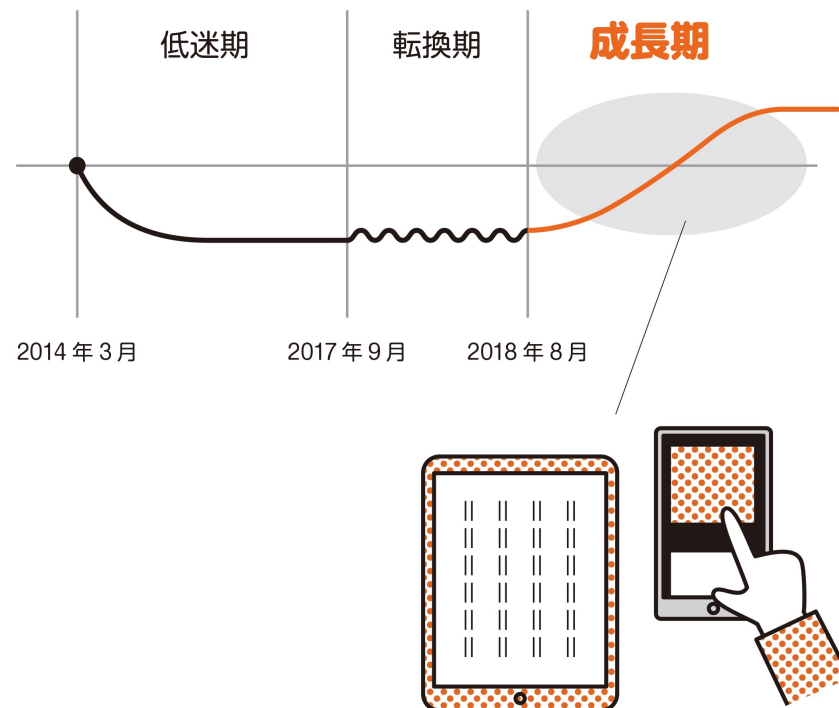
知り合いのB型事業所からテナントの斡旋
(賃料ダウン！延床2倍！保証金不要！)



引越しを決断！定員増に向けた取り組み
スタート！！

- ・定員増に向けた取り組み

- ー組織再編(生活支援員の確保、各業務のリーダー(利用者)をスタッフへ登用)
- ー段階的な定員増(既存利用者の混乱を避けるため、10名⇒15名⇒20名へ)



次の取組に向けて人的ネットワークの構築を目的に研究会や団体に所属するも...

コロナ禍での取組

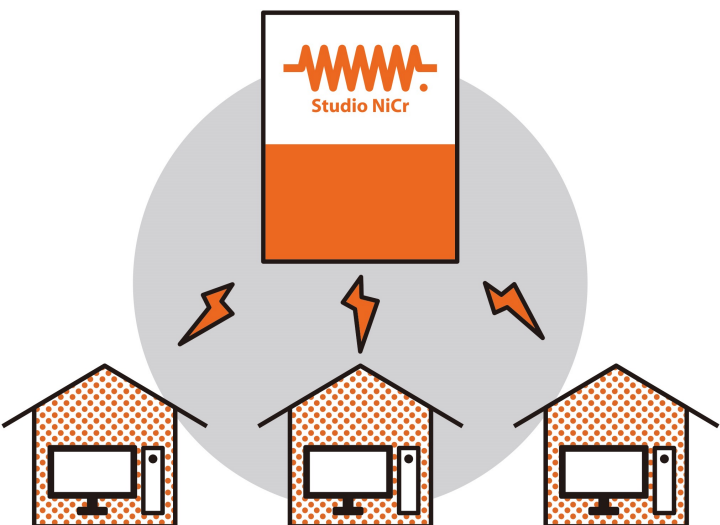
- ・2020年4月（緊急事態宣言前）
利用者の9割を在宅就労へ
（職場のPC貸与、光熱費補助）

- ー始業（体調報告）、終業（業務内容）のメール連絡
- ー作業グループ毎にスカイプでの情報共有
- ー月1回、通所による面談の実施



作業効率は下がらず、出勤率はアップ！

- ・希望者は在宅就労を継続
（現在15名が在宅就労）
- ・コロナ終息後も就労形態の一つとして在宅就労
を継続していく予定



これからの展望

- 法人として「障害者の就労支援」「障害者の雇用創出」
 - ― 電子書籍業界は活況
 - ― HRCから受注拡大、人員増の打診
 - ― 就労支援、雇用創出につながる取り組み
- 電子書籍制作は手段の一つ
 - ― 時代工房との出会いからウェブ、デザイン制作を開始
 - ― HRCとの出会いから電子書籍制作の導入
 - ― 常に新規事業の立ち上げを模索
- 出会いと気付きを大切に
 - ― 「何をするか」よりも「誰とするか」を重視
 - ― 出会いを大切にし信頼を得る
 - ― 新たな気付きから業務に繋げる